

化学製品安全データシート[SDS]

スプレーガン用クリーナー

作成日 : 2007年4月19日

改定日 : 2015年6月22日

1. 製品及び会社情報

【製品名】

製品名 : スプレーガン用クリーナー

管理番号 : PS-R-J-GHS-(1)

製品分類 : 塗料・インキ・接着剤の洗浄/剥離液

【製造会社 管理者情報 / 品質管理 担当部署・担当者情報】

社名 : 株式会社オルタライフ

住所 : 埼玉県戸田市笹目8丁目15-1

電話番号: 048-449-6570 FAX番号: 048-421-3266

2. 危険性有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	:	爆発物	分類対象外
		可燃性・引火性ガス	分類対象外
		エアゾール	分類対象外
		支燃性・酸化性ガス	分類対象外
		引火性液体	分類対象外
		自然発火性液体	分類対象外
		自己発熱性化学品	分類対象外
		水反応可燃性化学品	分類対象外
		酸化性液体	分類対象外
		有機過酸化物	分類対象外
		金属腐食性物質	分類対象外

健康に対する有害性	強い眼刺激	区分 2A 強い眼刺激 (注意喚起用語: 警告) 《シンボル: あり》
-----------	-------	---



急性毒性(経口)	区分5 飲み込むと有害のおそれ 《シンボル:なし》 マウスを用いた経口投与試験による LD50 値 2,600mg/kg に基づき区分 5 とした。
急性毒性(経皮)	区分外 マウスを用いた経口投与試験 による LD50値:5,000mg/kg 以上
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない(ミスト)
皮膚腐食性・刺激性	区分 3 脱脂性能による

		軽度の皮膚刺激 (注意喚起用語:警告) 《シンボル: なし》
	呼吸器感作性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	区分外
	特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	区分外
	吸引性呼吸器有害性	区分外
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

【ラベル要素】

絵表示又はシンボル : あり

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 眼刺激: 区分 2A 警告 強い眼刺激
《シンボル: あり》
急性毒性(経口): 区分 5 警告 飲み込むと有害のおそれ
《シンボル: なし》
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 3 警告 脱脂性能による軽度の
皮膚刺激
《シンボル: なし》

注意書き : 【安全対策】
 ・製品の飛沫や、洗浄廃液が目に入ることを防ぐことが可能な形状の、「飛来物・液体飛沫防止用保護眼鏡」を着用する。
 ・ポリウレタン製、ブチルゴム製などの耐油性・耐溶剤性保護手袋を着用する。
 ・本製品の加温時ミスト、蒸気を吸入しない。
 ・容器充填時、洗浄容器の開閉、洗浄対象物の取扱作業の場合、防塵マスク、簡易防塵マスクなどの適切な呼吸器保護具を着用する。
 ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用する。
 ・取扱い後はよく手を洗う。
 ・洗浄対象物から剥離された炭化物・油脂類に由来する気化性物質に対しても上記の安全対策を考慮する必要がある。
 ・専用に設計・配備された洗浄装置以外では使用しない。

【救急処置】

・眼に入った場合:多量の水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗う。
 ・眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。
 ・皮膚に付着した場合は、水と石鹼でよく洗う。

- ・皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受ける。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
- ・洗浄液で汚れた保護衣を再使用する場合には洗濯して使用する。

【保管】

- ・指定容器に密閉して換気の良い場所で施錠して保管する。
- ・指定容器種類は「7項:取扱上の注意」の記載項目に従う。

【廃棄】

- ・新液の空容器を廃棄する場合は、内容物を残らず使用し、好ましくは残存する内容物を水で洗浄後廃棄する。
- ・容器を洗った洗浄水は、活性汚泥処理等の工場廃水処理基準により処理する。

国/地域情報 : 日本国

3. 組成、成分情報

単一製品・混合品の区別 : 混合品 (全ての原材料は ICSC 検索記載なし、PRTR 法管理対象外)

成分名称(化学名)	含有量 (W%)	CAS No. 官報公示整理番号
トウモロコシ由来 高分子アルコール系溶剤 Long chain Alcohols, C12-24 extracted from Kernel of Corn	92～ 93%	非開示 (2)-217
水分 Water	5～%	7732-18-5 (9)-447x
大豆由来 乳酸エチル Ethyl Ester of Lactic Acid - Extracted from Soy Bean	～1%	97-64-3 (2)-1371
大豆由来非イオン系界面活性剤 (ポリ・オキシエチレン・アルキルエーテル) Polyoxyethylene Alkyl Ether - Extracted from Soy Bean	～1%	非開示 (7)-97
大豆/トウモロコシ由来非イオン系界面活性剤 (ラウリルグルコシド) Lauryl Glucoside - Extracted from Soy Bean	～1%	非開示 (5)-3641

4. 応急措置

- 目に入った場合 : 直ちに清水を用いて十分に洗い流す。コンタクトレンズを容易に外せる場合には、外して引き続き水で十分に洗う。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 炎症性が無いため、緊急処置は要しないが、脱脂性による肌荒れを防ぐために十分な水で洗浄する。
- 吸入した場合 : 反応性が無いため緊急処置は要しないが、不快感を覚えた場合、新鮮な空気のある場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息させる。
異常を感じた場合は、医師の診断を受ける。
- 飲込んだ場合 : 毒性が低いため緊急処置は要しないが、きれいな水で口の中をうがいし、

大量の水を飲む。無理に吐かせない。
異常を感じた場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 噴霧水、泡消火剤、粉末(ABC)消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類等が適する。
初期消火において強く放水を当てると火が飛散する可能性がある。
- 消火方法と保護 : 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。
延焼の恐れのないように、水スプレーで周辺のタンク、建物等を冷却する。
消火作業は風上から行い、状況によっては呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 特別技術員の必要性 : 特に必要としない。
- 作業の注意 : 床材・塗料・付着汚染物等を溶解する為、滑り易く転倒に注意が必要。
- 洗浄／除去方法 : 液温が高温である場合は、大量の水で洗い流す。
液温が常温である場合は、布・紙により吸着し、これらを乾燥後、
素材に適した地域の廃棄基準に従って廃棄する。
回収が可能な場合は、換気を確保し、耐溶剤保護具を着用した上で、
ポリエチレン等の適合素材容器へ回収する。

7. 取扱上の注意

- 取扱い : 製品の飛沫や、洗浄廃液が目に入ることを防ぐことが可能な形状の、
「飛来物・液体飛沫防止用保護眼鏡」を着用する。
使用ならびに、移替え作業においては、ポリウレタン製、ブチルゴム製の
耐油性・耐溶剤性保護手袋を着用する。
設備条件によっては静電気対策を講じる。
使用温度は製品の取扱要領書(別途)を参照する。
「8. 暴露防止の処置」に記載の設備対策を行う。
- ・保管 : 容器は密閉し、直射日光を避けて風通しの良い場所に保管する。
最低保管場所温度(2℃) 最大保管場所温度(40℃)
- ・容器包装材料 : 保存および輸送には、ポリエチレン製またはステンレス鋼製容器を用いる。
金属缶(一斗缶等)を用いる場合は、ポリエチレン内装で対薬品性を
有するKHK(危険物保安協会)認可品である「アトロン缶」相当の、
危険物運搬適合容器を用いる。
(対薬品性を持たない「塗料缶」を用いてはならない。)

8. 暴露防止の措置

- 管理濃度 : 記載なし
- 設備対策 : 必要なし
- 保護具 : 目の保護 ・容器充填時、保護メガネの着用を推奨する
皮膚の保護 ・長時間接触する場合は「7. 取扱上の注意」に記載の
保護手袋を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

- 状態 : 液体
- 色 : 透明
- pH値 : 10±0.5 (20℃)
- におい : 芳香臭
- 沸点 : 140℃以上
- 融点 : -20℃
- 揮発性 : なし @20℃
- 密度 : 1.06g/cm³ (20℃)
- 溶解度 : 水に溶解性

10. 安定性及び反応性

- 加熱分解性 : 特になし
 危険反応性 : 引火点 なし(注) 発火点 259℃ 自然発火性 なし
 (注)但し、蒸留再生等で水分を除去した場合の引火点は、79℃(セタ密封式)となるため、引火点をなくすには5%以上の水を加える水分の管理(例:蒸留再生液95部に対し水5%部を添加)が必要である
 避けるべき条件 : 紫外線、高温、強酸化剤、強アルカリとの接触
 混触危険物質 : 特になし
 危険有害な生成物 : 燃焼による一酸化炭素

11. 有害性情報

- | | | |
|-----------|------------------------|--|
| 健康に対する有害性 | : 強い眼刺激 | 区分2A 警告 《シンボル: あり》 |
| | 急性毒性(経口) | 区分 5 警告 《シンボル: なし》
マウスを用いた経口投与試験による LD50値:
2,600mg/kgに基づき区分5とした。 |
| | 急性毒性(経皮) | 区分外
マウスを用いた経口投与試験による LD50値:
5,000mg/kg 以上 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 区分 3
脱脂性能による、軽度の皮膚刺激 |
| | 皮膚感作性 | 区分外 |
| | 特定標的臓器・全身毒性
(単回ばく露) | 区分外 |
| | 特定標的臓器・全身毒性
(反復ばく露) | 区分外 |
| | 発がん性 | 区分外 |
| | 生殖毒性 | 区分外 |

12. 環境影響情報

- 水生環境急性有害性 : 区分外
 水生環境慢性有害性 : 区分外
 ダフニアマグナ 48hr EC50:616mg/L
 ビメフェレスプロメラス 98hr LC50:180mg/L
 生分解性 : 生分解性を持つ(容易に微生物分解される) 98.9% (JIS K 3363)

13. 廃棄上の注意

使用済液は混入した素材の成分に応じて、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する。
 但し、条件を満たした場合、製造元の指定する専門業者により使用済液を回収し再生剤原料の抽出を委託することが出来る。

14. 輸送上の注意

- 国内規制:「下記、15 適用法令参照」
 国際規制:
 ・陸上規制情報:「下記、15 適用法令参照」
 ・海上規制情報:特になし
 ・航空規制情報:特になし

15. 適用法令

- ・消防法:非該当
- ・労働安全衛生法:非該当
- ・化管法:非該当
- ・毒物及び劇物取締法:非該当

16. その他の情報: 参考文献

- 1) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 「化学物質総合情報提供システム(CHRIP)」
<http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>
 「化審法データベース(J-CHECK)」
<http://www.safe.nite.go.jp/jcheck/Top.do>
- 2) 安全衛生情報センター 「GHS対応モデルMSDS情報」
http://www.jaish.gr.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- 3) 総務省行政管理局 電子政府利用支援センター 「法令データ提供システム」
<http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi>
- 4) 国立医薬品食品衛生研究所(NIHS) 安全情報部 「国際化学物質安全性カード日本語版」
<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>
- 5) 財団法人化学物質評価研究機構 「化学物質ハザードデータ集」
http://www.cerij.or.jp/db/sheet/sheet_indx.htm
- 6) 経済産業省・環境省「PRTR 排出量等算出マニュアル第4 版」資料編(対象物質に関連する情報)
<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/notification/calc.html>
- 7) 厚生労働省 労働基準情報 「化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)」
 附属書2、4 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei07/index.html>
- 8) UNECE “Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS)”
http://www.unece.org/trans/danger/publi/ghs/ghs_rev02/02files_e.html

- ここで記載された事項は、現時点で正確なものと考えておりますが、危険性・有害性の評価は必ずしも完全ではなく新知見により変わる場合があります。又、特殊な扱いの場合は用途用法に適した安全対策を実施してください。尚、含有量・物理化学的性質は保証値ではありません。